

製品名: ニューロンナビゲーター 1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab14614

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000
分子量	200kDa

抗原情報

遺伝子名	NAV1
別名	NAV1; KIAA1151; KIAA1213; POMFIL3; STEERIN1; Neuron navigator 1; Pore membrane and/or filament-interacting-like protein 3; Steerin-1; Unc-53 homolog 1; unc53H1
遺伝子 ID	89796.0
SwissProt ID	Q8NEY1
免疫原	Neuron Navigator 1 から派生した合成ペプチド。アミノ酸範囲: 510-590

背景

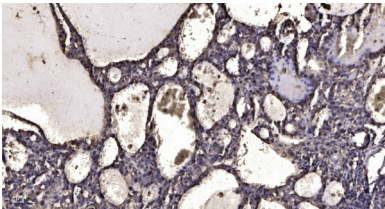
この遺伝子はニューロンナビゲーターファミリーに属し、主に神経系で発現しています。コードされているタンパク質は、コイルド

コイルドメインと、様々な細胞活動に関連する ATPase に特徴的な保存された AAA ドメインを含んでいます。この遺伝子は、軸索誘導に関与する *Caenorhabditis elegans* の遺伝子 *unc-53* と類似しています。この遺伝子の正確な機能は不明ですが、ニューロンの発達と再生に関与していると考えられています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2009 年 11 月], 発達段階: 胎児の脳と心臓で発現します。、機能: ニューロンの移動に関与している可能性があります。、類似性: Nav/*unc-53* ファミリーに属します。、細胞内局在: 微小管プラス端のサブセットと関連しています。神経細胞の成長円錐に豊富に存在します。、サブユニット: チューブリンと相互作用します。、組織特異性: 低レベルで広範囲に発現しています。心臓、骨格筋、胎盤では高レベルで発現しています。、

研究分野

成長と発達; 軸索誘導タンパク質; 神経科学; 神経学プロセス; 神経発生

画像データ



パラフィン包埋ヒト肝癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。